

# 南魚沼市「結婚」に関するアンケート調査結果

令和2年3月

## 調査の概要

### 1. 調査概要

- (1) 調査の目的
- (2) 調査方法と調査票回収状況
- (3) 回答者の属性

### 2. 未婚者の意識

- (1) 未婚者の結婚意向
- (2) ほしい子どもの数
- (3) 未婚者の異性との交際状況
- (4) 結婚を考えたときに気になること

### 3. 既婚者の意識

- (1) 出会いのきっかけ
- (2) 理想的な子どもの数と実際の子どもの数

### 4. 結婚に関する意識

- (1) 結婚の利点
- (2) 未婚化・晩婚化の原因
- (3) 結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことに関する考え方
- (4) 出生率が低い理由・原因
- (5) 行政の婚活支援
- (6) 社会的な婚活支援

南魚沼市 総務部 企画政策課

担当：企画班 TEL：(025) 773-6672

# 1 調査概要

## (1) 調査の目的

国勢調査における 2015 年の南魚沼市の人口は 58,568 人で国立社会保障・人口問題研究所が 2018 年 3 月 30 日に公表した推計（以下「社人研推計」という。）によると本市の人口は 2030 年には 5 万人、2045 年には 4 万人を下回るとされており、本市における人口の減少傾向は今後さらに進むことが想定される。

こうした中で、このアンケート調査は、市内の若者の結婚や子育てに対する意識などを調査し、総合的な人口減少対策の基礎資料として活用する目的で実施した。

## (2) 調査方法と調査票回収状況

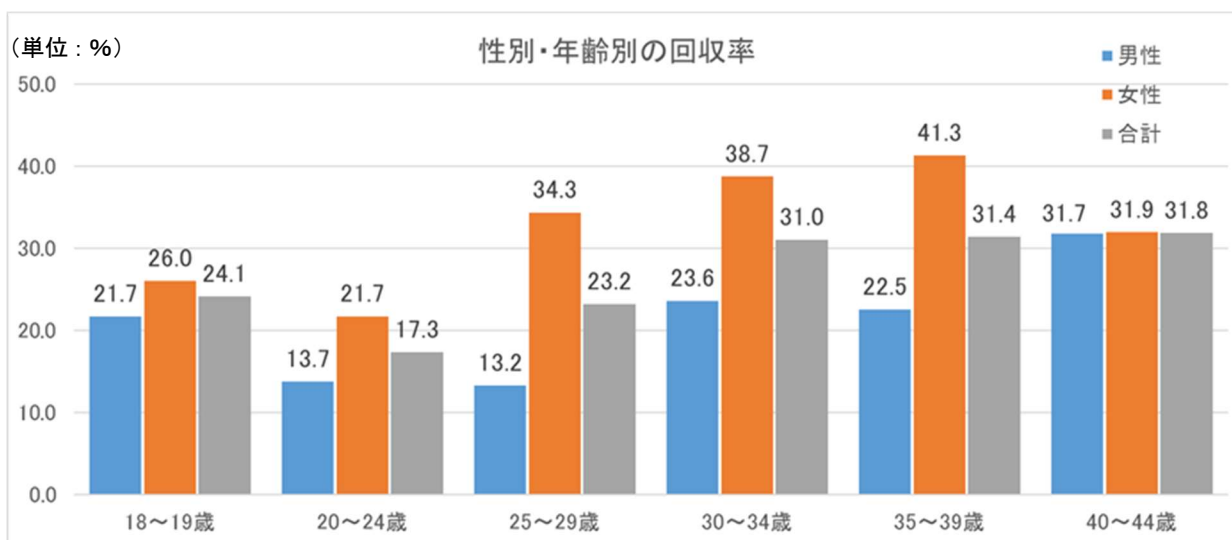
調査方法は以下のとおり

調査地域	南魚沼市全域
調査対象	年齢 18 歳以上 45 歳未満（令和元年 10 月 1 日現在）の市民
調査客体	2,000 人（男性 1040 女性 960）
抽出方法	令和元年 10 月 1 日の住民基本台帳から、対象者のうち、上記の人数を無作為抽出
調査方法	郵送およびインターネット回答
調査期間	令和元年 10 月 11 日（金）～令和元年 10 月 31 日（木）

回収結果は以下のとおり

配布数	2,000 通
回収数	553（調査票によるもの 349 インターネットによるもの 204） （未婚者：調査票 124 インターネット 81）（既婚者：調査票 225 インターネット 123）
回収率	27.2%

回収結果を男女別・年齢別で見ると、回収率は 20～24 歳が最も低い。男性は 40 歳代、女性は 35～39 歳代が最も高い。また、どの年代においても男性より、女性の回収率が高い。



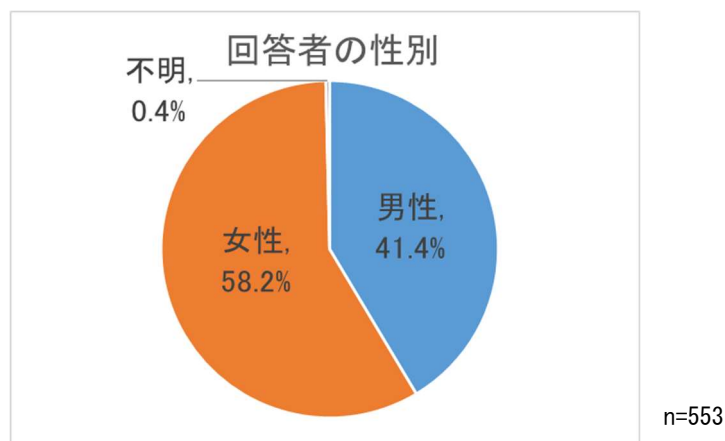
### (3) 回答者の属性

性別	項目	18～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	合計
男性	人数	13	24	20	41	52	79	229
	割合	5.7%	10.5%	8.7%	17.9%	22.7%	34.5%	100.0%
女性	人数	20	31	46	65	85	74	321
	割合	6.2%	9.7%	14.3%	20.2%	26.5%	23.1%	100.0%
合計	人数	33	55	66	106	137	153	550
	割合	6.0%	10.0%	12.0%	19.3%	24.9%	27.8%	100.0%

※性別・年齢回答なし: 1人、性別回答なし: 1人(40～44歳)、年齢回答なし: 1人(女性)

#### ① 性別

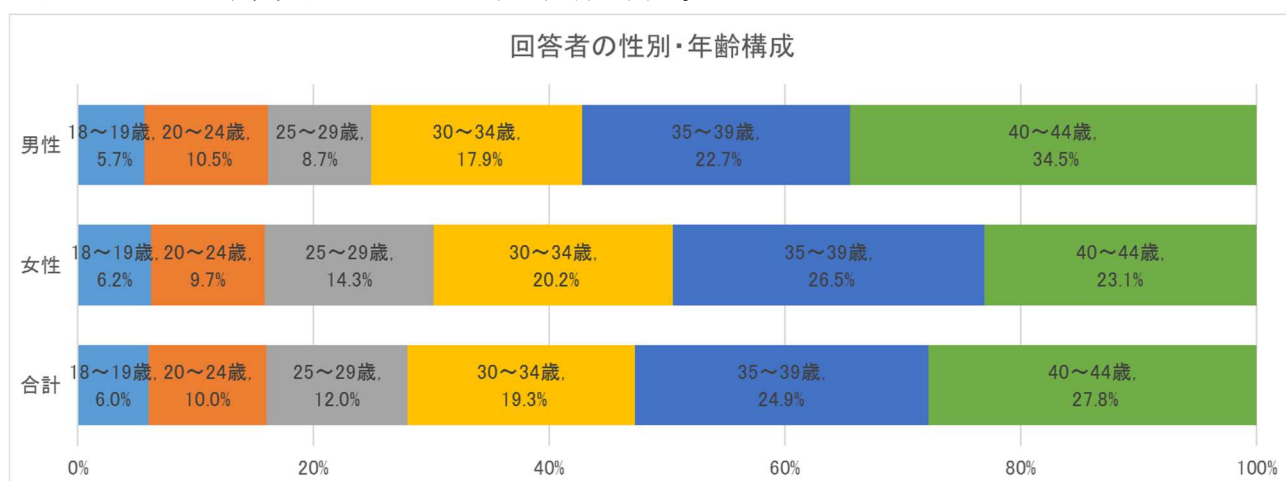
男性 41.4%、女性 58.2%となっている。



#### ② 年齢（5歳階級別）

回答者は40歳代（27.9%）が最も多く、次いで35～39歳（24.9%）、30～34歳（19.2%）の順で多くなっており、30歳代以上の回答者が全体の7割を占める。

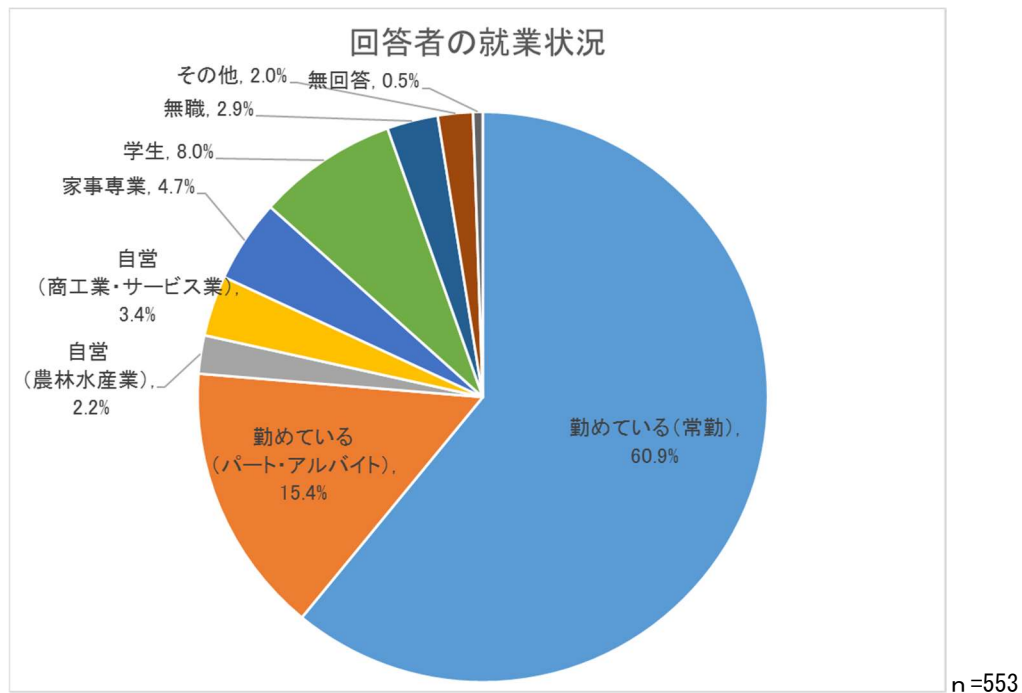
男女別の年齢構成では、男性・女性ともに年齢が上がるごとに回答者の割合が高い傾向があり、男性では40～44歳、女性では35～39歳の割合が高い。



n=550（男性 n=229 女性 n=321）

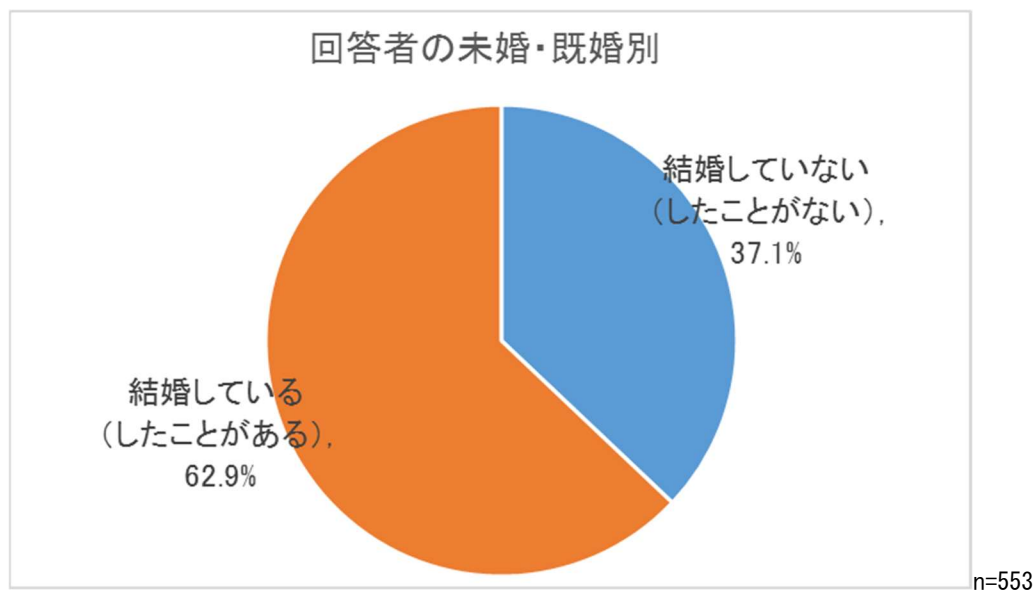
### ③ 就業状況別

就業状況別では、「勤めている（常勤）」が約6割を占め、次いで「勤めている（パート・アルバイト）」、「学生」の順となっている。



### ④ 未婚・既婚別

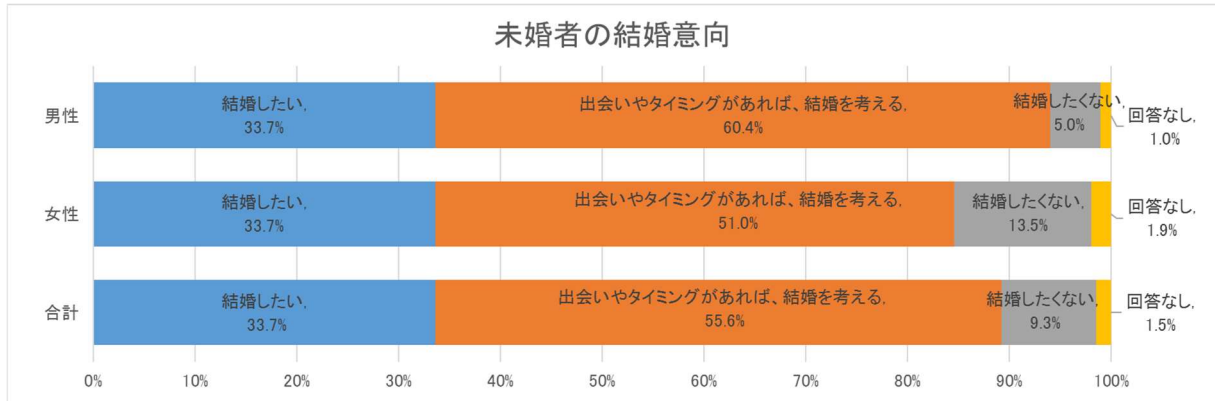
未婚・既婚別では、「未婚（結婚していない（したことがない）」が約4割、「既婚（結婚している（したことがある）」が約6割となっている。



## 2 未婚者の意識

### (1) 未婚者の結婚意向

「結婚したい」が男性・女性ともに33.7%、「出会いやタイミングがあれば、結婚を考える」が男性60.4%、女性は51.0%、「結婚したくない」が男性5.0%、女性13.5%となった。



男性 n=101、女性 n=104、合計 n=205

### 男女別・年齢別の未婚者の結婚意向の回答人数・割合

年齢	男性								女性							
	結婚したい		出会いやタイミングがあれば、結婚を考える		結婚したくない		回答なし		結婚したい		出会いやタイミングがあれば、結婚を考える		結婚したくない		回答なし	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
18～24歳	14	13.9%	19	18.8%	2	2.0%	0	0.0%	17	16.3%	23	22.1%	7	6.7%	1	1.0%
25～34歳	11	10.9%	22	21.8%	1	1.0%	0	0.0%	12	11.5%	18	17.3%	4	3.8%	0	0.0%
35～44歳	9	8.9%	20	19.8%	2	2.0%	1	1.0%	6	5.8%	12	11.5%	3	2.9%	1	1.0%
合計	34	33.7%	61	60.4%	5	5.0%	1	1.0%	35	33.6%	53	50.9%	14	13.4%	2	2.0%

男性 n=101、女性 n=104

### 就業状況別にみた、「結婚したい」と回答した人の割合

就業の状況	割合
勤めている(常勤)	33.1%
勤めている(パート・アルバイト)	28.6%
自営(農林水産業)	33.3%
自営(商工業・サービス業)	66.7%
家事専業	0.0%
学生	40.5%
無職	27.3%
その他	16.7%

就業状況別に「結婚したい」と回答した人の割合をみると、「自営(商工業・サービス業)」が一番高く、次いで「学生」「自営(農林水産業)」「勤めている(常勤)」の順となった。

n=69

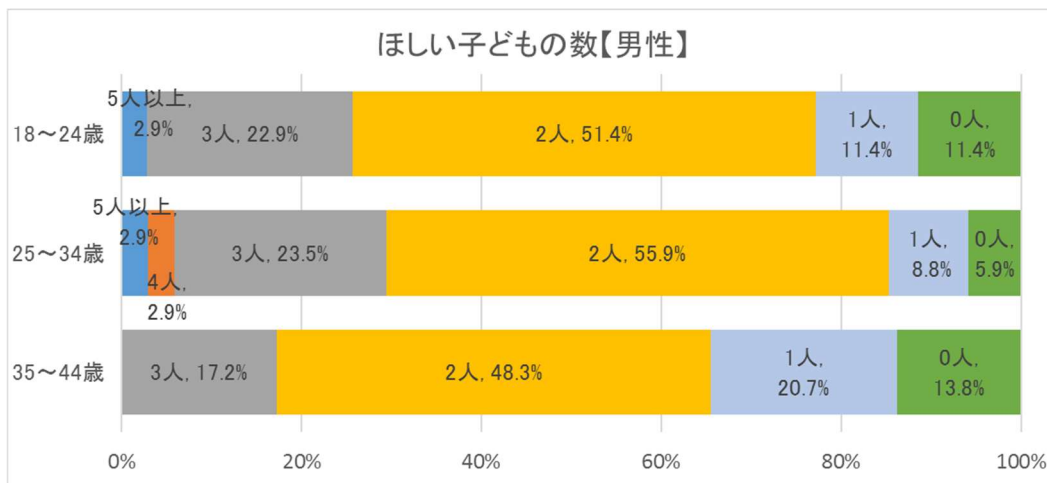
## (2) ほしい子どもの数

未婚者がほしい子どもの数の平均値は、男性が1.96人、女性が1.78人となった。(5人以上は5人として算出した。)

### ほしい子どもの数（男性）

	5人以上		4人		3人		2人		1人		0人		平均(人)
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
18～24歳	1	2.9%	0	0.0%	8	22.9%	18	51.4%	4	11.4%	4	11.4%	1.97
25～34歳	1	2.9%	1	2.9%	8	23.5%	19	55.9%	3	8.8%	2	5.9%	2.18
35～44歳	0	0.0%	0	0.0%	5	17.2%	14	48.3%	6	20.7%	4	13.8%	1.69
合計	2	2.0%	1	1.0%	21	21.4%	51	52.0%	13	13.3%	10	10.2%	1.96

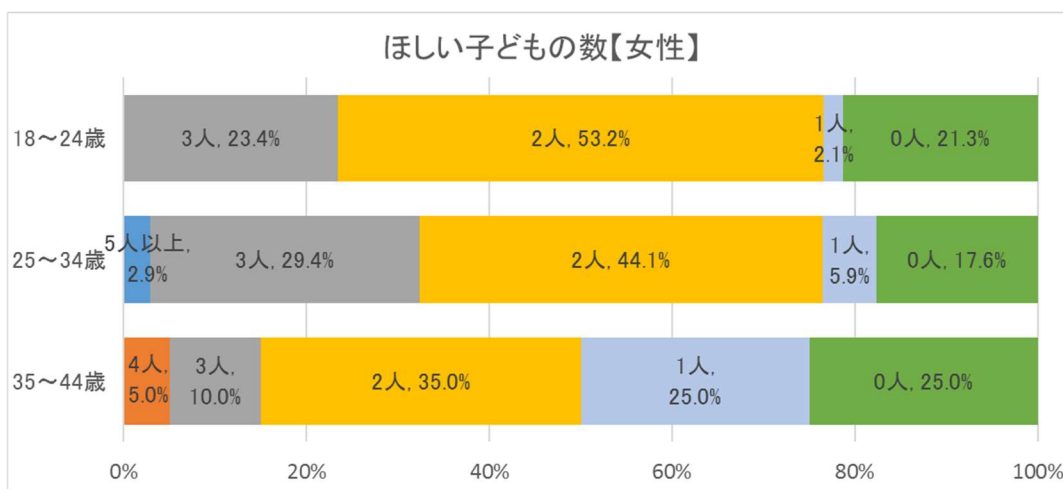
n=98



### ほしい子どもの数（女性）

	5人以上		4人		3人		2人		1人		0人		平均(人)
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
18～24歳	0	0.0%	0	0.0%	11	23.4%	25	53.2%	1	2.1%	10	21.3%	1.79
25～34歳	1	2.9%	0	0.0%	10	29.4%	15	44.1%	2	5.9%	6	17.6%	1.97
35～44歳	0	0.0%	1	5.0%	2	10.0%	7	35.0%	5	25.0%	5	25.0%	1.45
合計	1	1.0%	1	1.0%	23	22.8%	47	46.5%	8	7.9%	21	20.8%	1.78

n=101



### (3) 未婚者の異性との交際状況

「恋人として交際している異性がいる」が男性 25.3%、女性 30.4%、「友人として交際している異性がいる」が男性 12.1%、女性 7.8%、「交際している異性はいないが、交際は望んでいる」が男性 48.5%、女性 38.2%、「特に異性との交際を望んでいない」が男性 14.1%、女性 23.5%となった。

	男性		女性	
	今回	前回 (2013)	今回	前回 (2013)
恋人として交際している異性がいる (いずれ結婚したいと思っている) (とくに結婚は考えていない)	25.3% 22.2% 3.0%	22.7% 19.7% 3.0%	30.4% 20.6% 9.8%	36.1% 24.6% 11.5%
友人として交際している異性がいる (いずれ結婚したいと思っている) (とくに結婚は考えていない)	12.1% 6.1% 6.1%	10.6% 4.5% 6.1%	7.8% 1.0% 6.9%	14.8% 8.2% 6.6%
交際している異性はいないが、交際は望んでいる	48.5%	50.0%	38.2%	36.1%
特に異性との交際を望んでいない	14.1%	16.7%	23.5%	13.1%

社人研推計と比較するため 18～34 歳で再集計した。

南魚沼市と社人研推計を比較すると、南魚沼市は「恋人として交際している異性がいる」「友人として交際している異性がいる」「交際している異性はいないが、交際は望んでいる」の割合が高く、「特に異性との交際を望んでいない」の割合が低い。

#### 【参考：対象を 18～34 歳とした集計】

	男性		女性	
	今回	社人研推計	今回	社人研推計
恋人として交際している異性がいる (いずれ結婚したいと思っている) (とくに結婚は考えていない)	29.0% 26.1% 2.9%	19.7% 13.5% 5.8%	30.9% 19.8% 11.1%	27.3% 19.7% 7.1%
友人として交際している異性がいる (いずれ結婚したいと思っている) (とくに結婚は考えていない)	10.1% 4.3% 5.8%	5.9% 1.0% 4.6%	9.9% 1.2% 8.6%	7.7% 1.9% 5.3%
交際している異性はいないが、交際は望んでいる	47.8%	31.9%	35.8%	26.0%
特に異性との交際を望んでいない	13.0%	30.2%	23.5%	25.9%

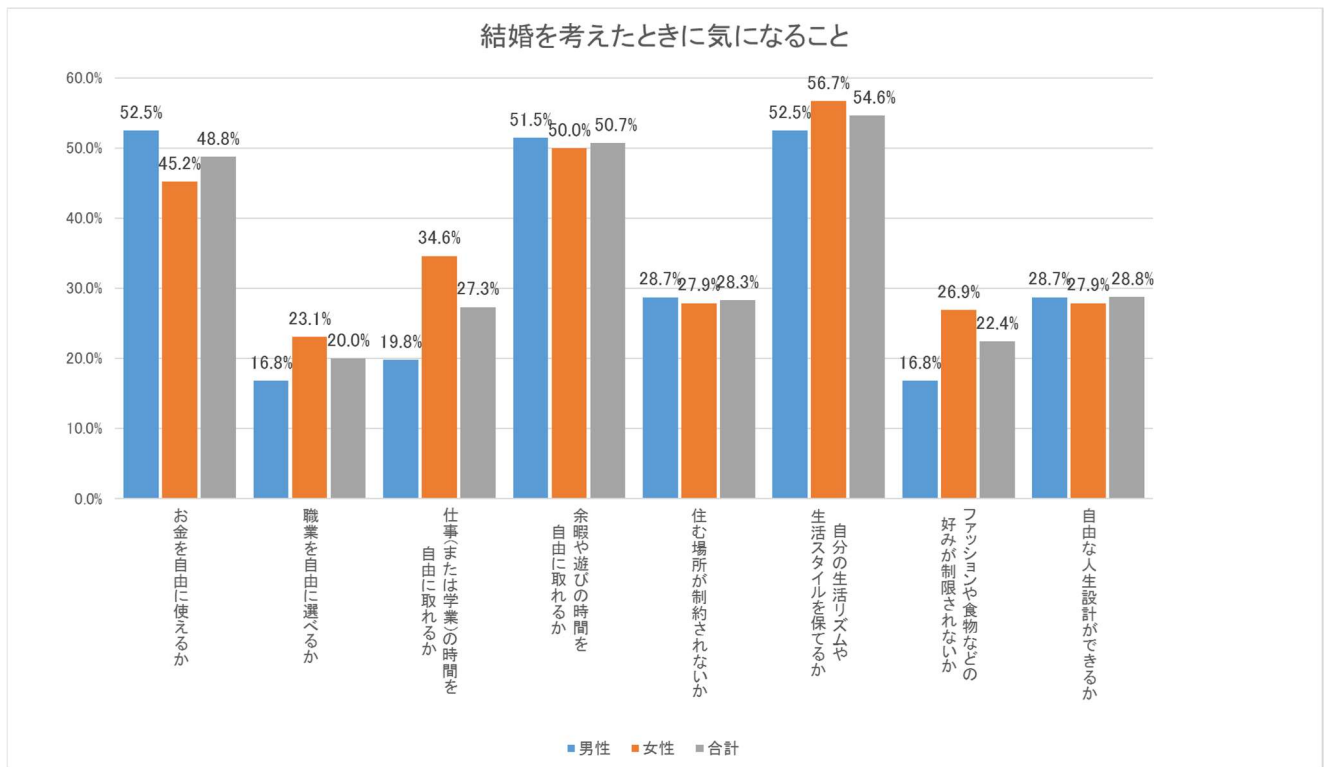
#### (4) 結婚について考えたときに気になること

結婚することを考えたときに気になることについて、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」「余暇や遊びの時間を自由に取れるか」が男性・女性ともに5割以上で上位となった。また、「仕事（または学業）の時間を自由に取れるか」「ファッションや食物などの好み制限されないか」では女性の方が男性を1割以上上回り、男女差がある。

		お金を自由に使えるか	職業を自由に選べるか	を仕事（または学業）の時間に自由に取れるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	住む場所が制約されないか	自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	ファッションや食物などの好み制限されないか	自由な人生設計ができるか
男性	総数	52.5%	16.8%	19.8%	51.5%	28.7%	52.5%	16.8%	28.7%
	18～24歳	51.4%	17.1%	20.0%	60.0%	28.6%	42.9%	25.7%	34.3%
	25～34歳	55.9%	26.5%	17.6%	52.9%	29.4%	55.9%	14.7%	23.5%
	35～44歳	50.0%	6.3%	21.9%	40.6%	28.1%	59.4%	9.4%	28.1%
女性	総数	45.2%	23.1%	34.6%	50.0%	27.9%	56.7%	26.9%	27.9%
	18～24歳	50.0%	22.9%	35.4%	60.4%	25.0%	54.2%	22.9%	37.5%
	25～34歳	47.1%	23.5%	44.1%	58.8%	26.5%	61.8%	29.4%	23.5%
	35～44歳	31.8%	22.7%	18.2%	13.6%	36.4%	54.5%	31.8%	13.6%
合計	総数	48.8%	20.0%	27.3%	50.7%	28.3%	54.6%	22.4%	28.8%
	18～24歳	45.5%	21.2%	24.2%	66.7%	24.2%	51.5%	24.2%	42.4%
	25～34歳	54.0%	20.0%	32.0%	56.0%	28.0%	48.0%	24.0%	32.0%
	35～44歳	56.3%	21.9%	28.1%	53.1%	25.0%	56.3%	18.8%	25.0%

男性 n=101、女性 n=104、合計 n=205





男性 n=101、女性 n=104、合計 n=205

### 3 既婚者の意識

#### (1) 出会いのきっかけ

結婚相手と知り合ったきっかけについて、「友人・知人・兄弟姉妹を通じて」が41.7%と最も高く、次いで「職場や仕事」26.8%、「学校」が15.5%の順となった。この上位3つで8割以上となっている。

	職場や仕事	友人・知人・兄弟姉妹を通じて	学校	街なかや旅行先	サークル・クラブ・習い事	アルバイト	幼なじみや近所の人	お見合い	インターネットを通じた出会い	婚活パーティーや街コン	その他
男性	25.2%	46.5%	17.3%	1.6%	2.4%	1.6%	0.8%	1.6%	0.0%	0.8%	2.4%
女性	27.8%	38.9%	14.4%	1.9%	4.2%	3.2%	0.5%	0.9%	2.3%	3.2%	2.8%
合計	26.8%	41.7%	15.5%	1.7%	3.5%	2.6%	0.6%	1.2%	1.5%	2.3%	2.6%

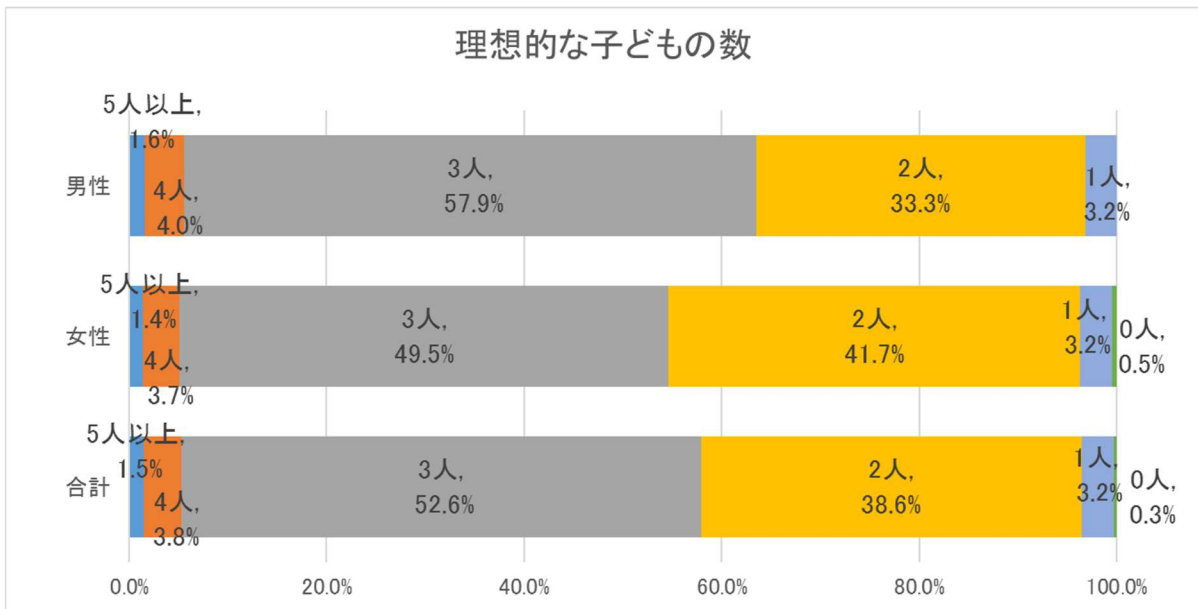
n=343

#### (2) 理想的な子どもの数と実際の子どもの数

理想的な子どもの数は2.61人となった。また、実際の子どもの数は2人を下回り、1.77人だった。（5人以上は5人として平均を算出した。）

#### 理想的な子どもの数

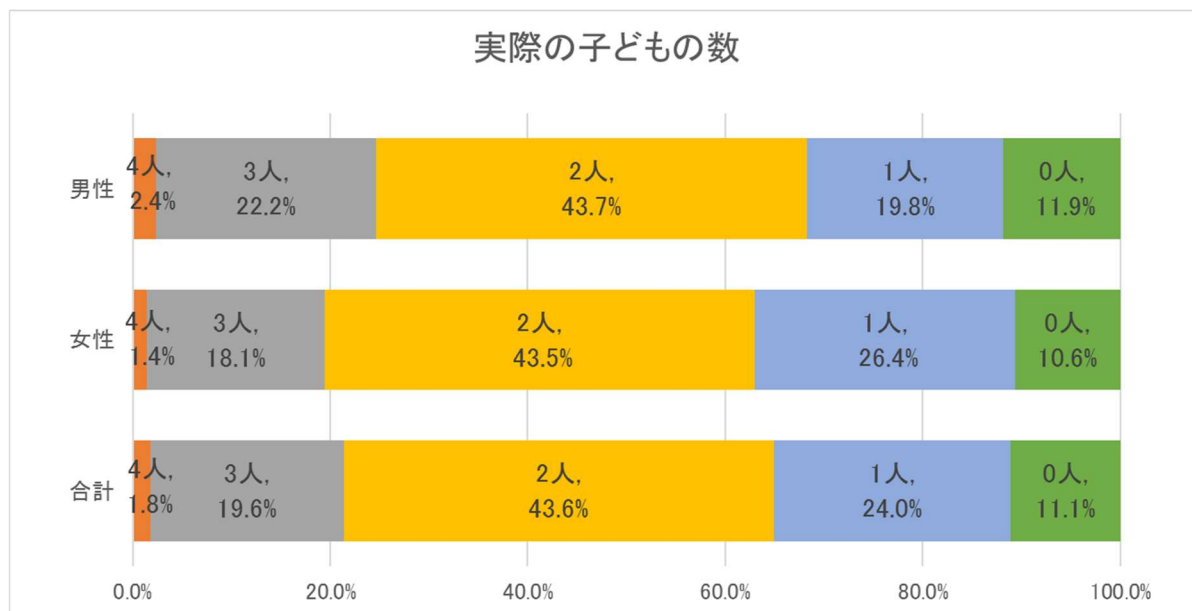
	5人以上		4人		3人		2人		1人		0人		平均(人)
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
男性	2	1.6%	5	4.0%	73	57.9%	42	33.3%	4	3.2%	0	0.0%	2.67
女性	3	1.4%	8	3.7%	107	49.5%	90	41.7%	7	3.2%	1	0.5%	2.57
合計	5	1.5%	13	3.8%	180	52.6%	132	38.6%	11	3.2%	1	0.3%	2.61



n=342

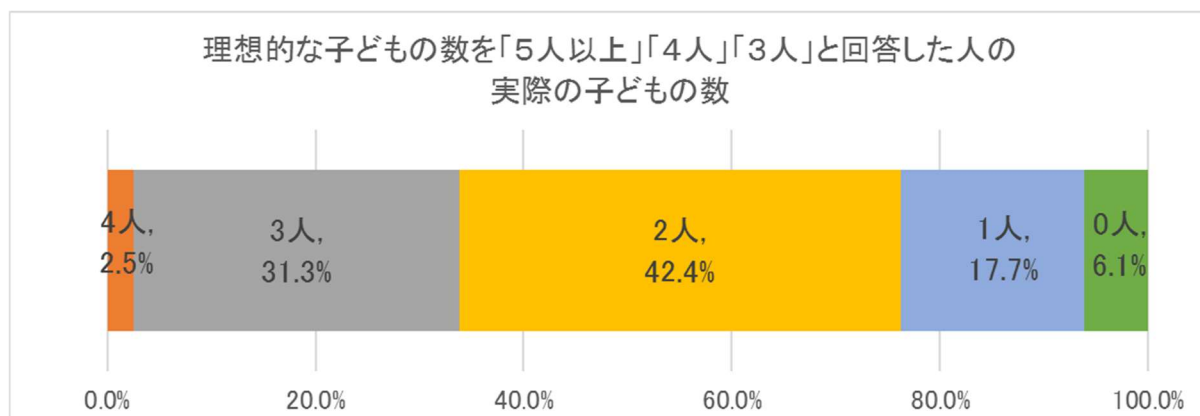
### 実際の子どもの数

	5人以上		4人		3人		2人		1人		0人		平均(人)
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
男性	0	0.0%	3	2.4%	28	22.2%	55	43.7%	25	19.8%	15	11.9%	1.83
女性	0	0.0%	3	1.4%	39	18.1%	94	43.5%	57	26.4%	23	10.6%	1.73
合計	0	0.0%	6	1.8%	67	19.6%	149	43.6%	82	24.0%	38	11.1%	1.77



n=342

理想的な子ども数を「5人以上」「4人」「3人」と回答した人の実際の子どもの数を見ると、平均は2.07人となり、2人以下が6割以上となっている。



n=198

## 4 結婚に関する意識

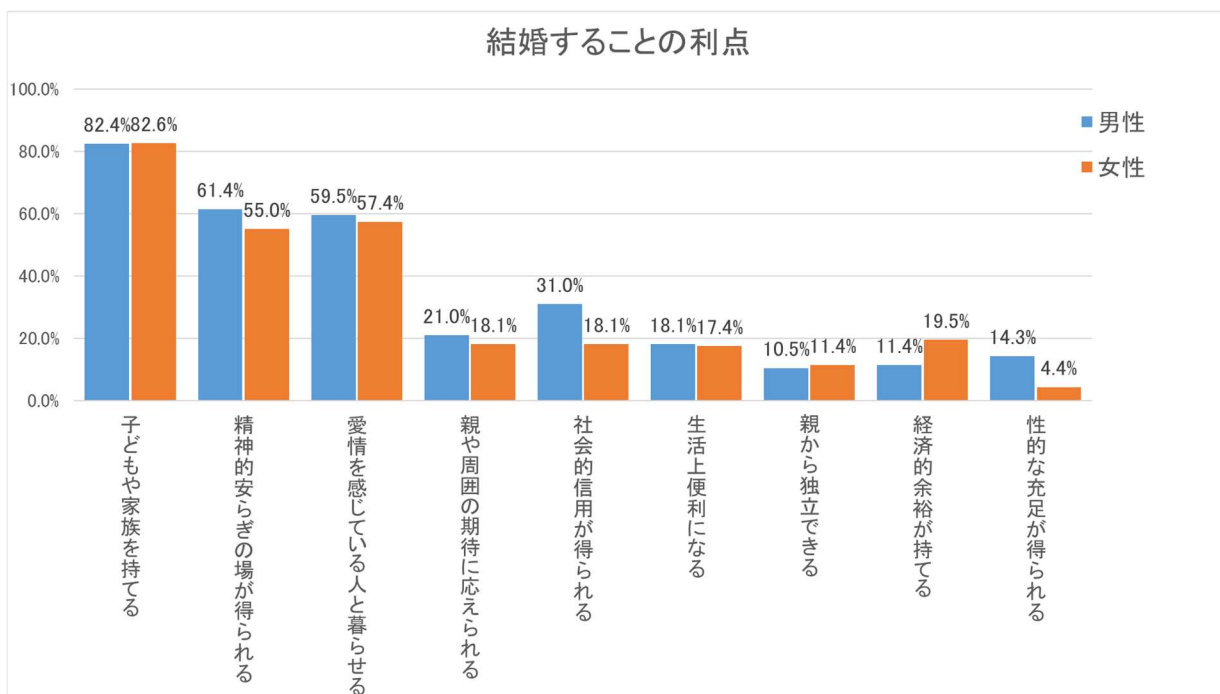
### (1) 結婚の利点

結婚することに「利点がある」と感じている人は92.2%となった。

結婚の利点について、「子どもや家族をもてる」を挙げる人が男性82.4%、女性82.6%でともに最も高かった。また、「精神的安らぎの場が得られる」が男性61.4%、女性55.0%、「愛情を感じている人と暮らせる」が男性59.5%、女性57.4%で男女ともに比較的高くなっている。

	全体	男性	女性
利点があると思う	92.2%	91.7%	92.5%
利点がないと思う	6.0%	5.7%	6.2%
回答なし	1.8%	2.6%	1.2%

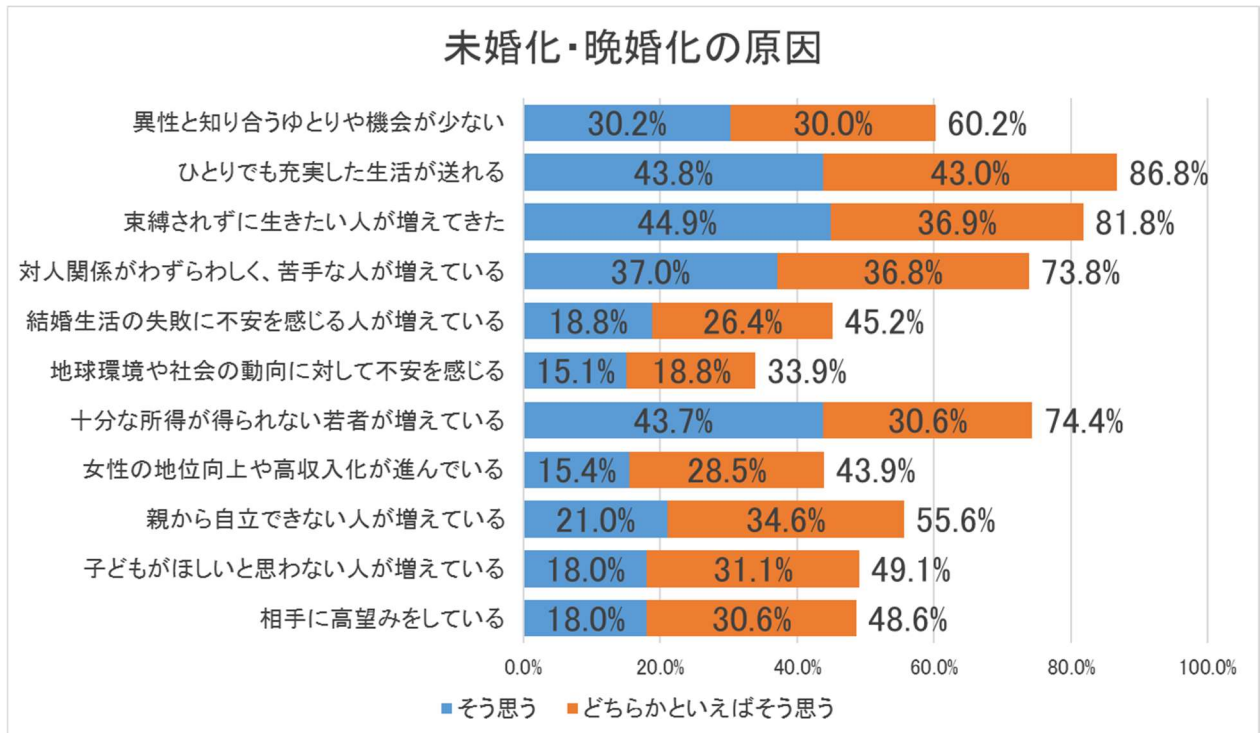
n=551



n=508

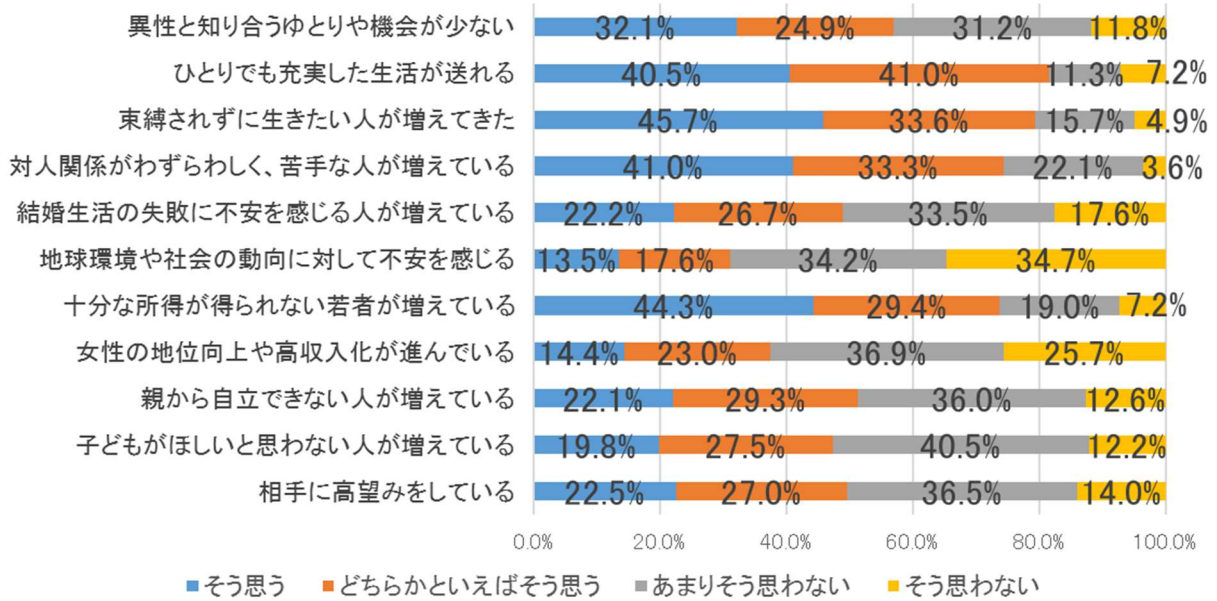
## (2) 未婚化・晩婚化の原因

未婚化・晩婚化の原因について「ひとりでも充実した生活が送れる」と思う人が約9割で最も高かった。次いで「束縛されずに生きていきたい人が増えてきた」が8割以上、「十分な所得が得られない若者が増えている」「対人関係がわずらわしく、苦手な人が増えている」が7割以上と高くなっている。



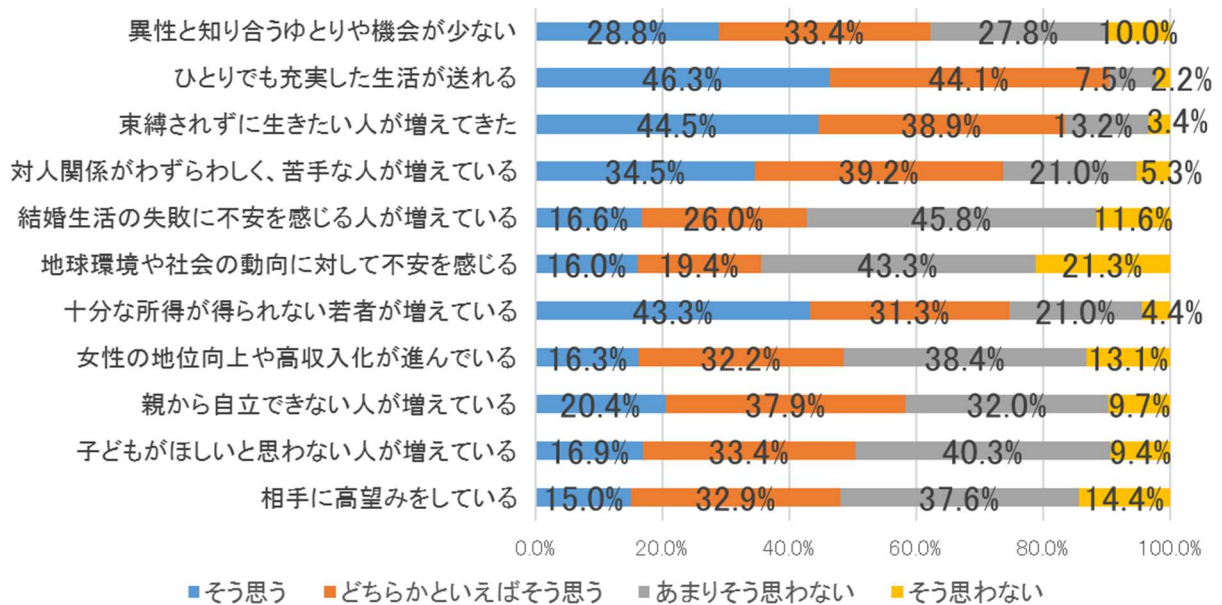
n=544

### 未婚化・晩婚化の原因【男性】



n=223

### 未婚化・晩婚化の原因【女性】

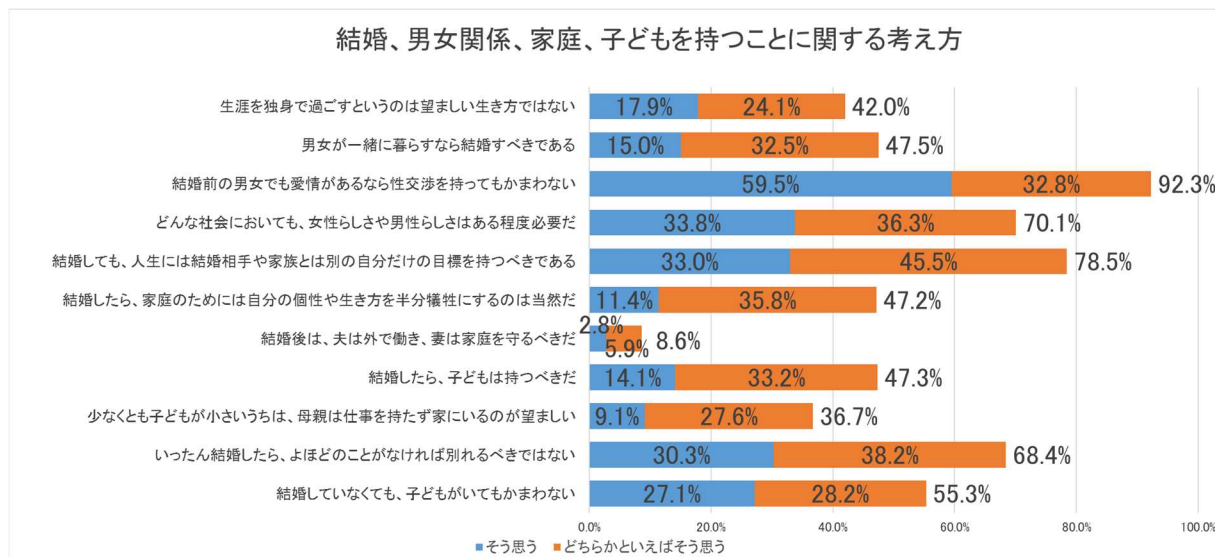


n=320

### (3) 結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことに関する考え方

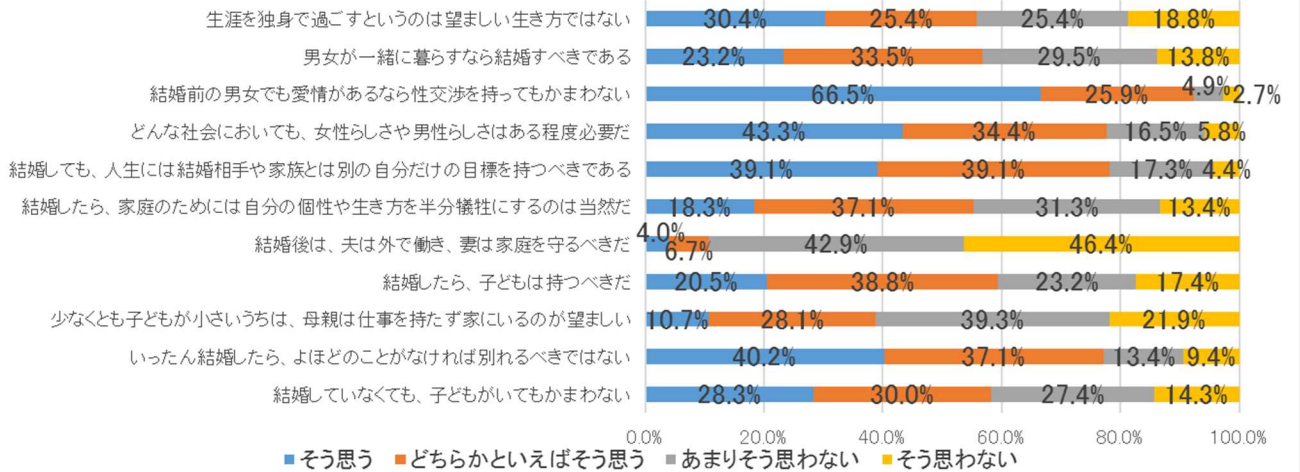
結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことに関する考え方について「結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉を持ってもらってもかまわない」と思う人が9割以上で最も高かった。次いで「結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標を持つべきである」「どんな社会においても、女性らしさや男性らしさはある程度必要だ」が7割以上と高くなっている。

一方、「結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」は、約1割と低い。



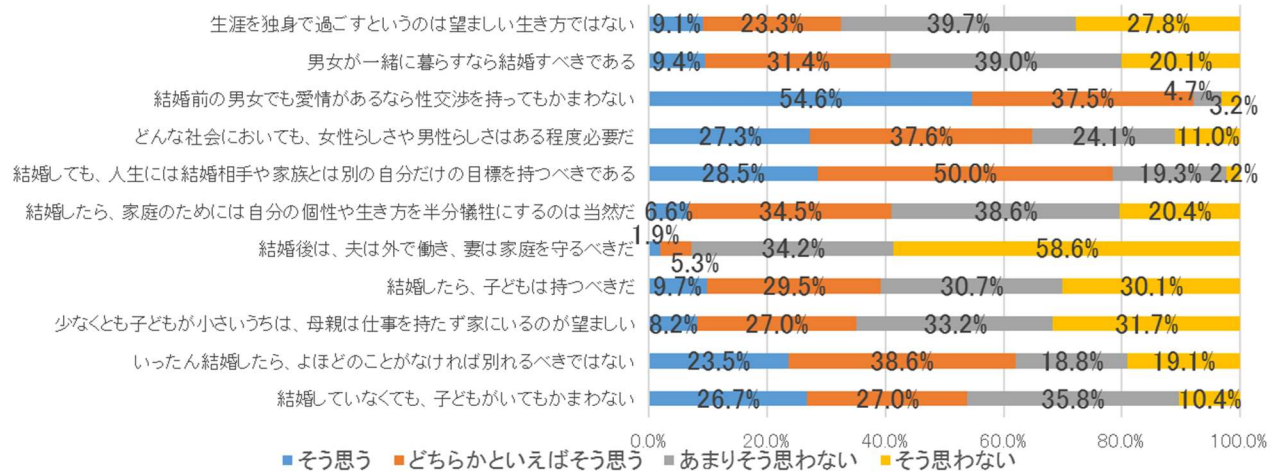
n=547

### 結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことに関する考え方【男性】



n=225

### 結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことに関する考え方【女性】

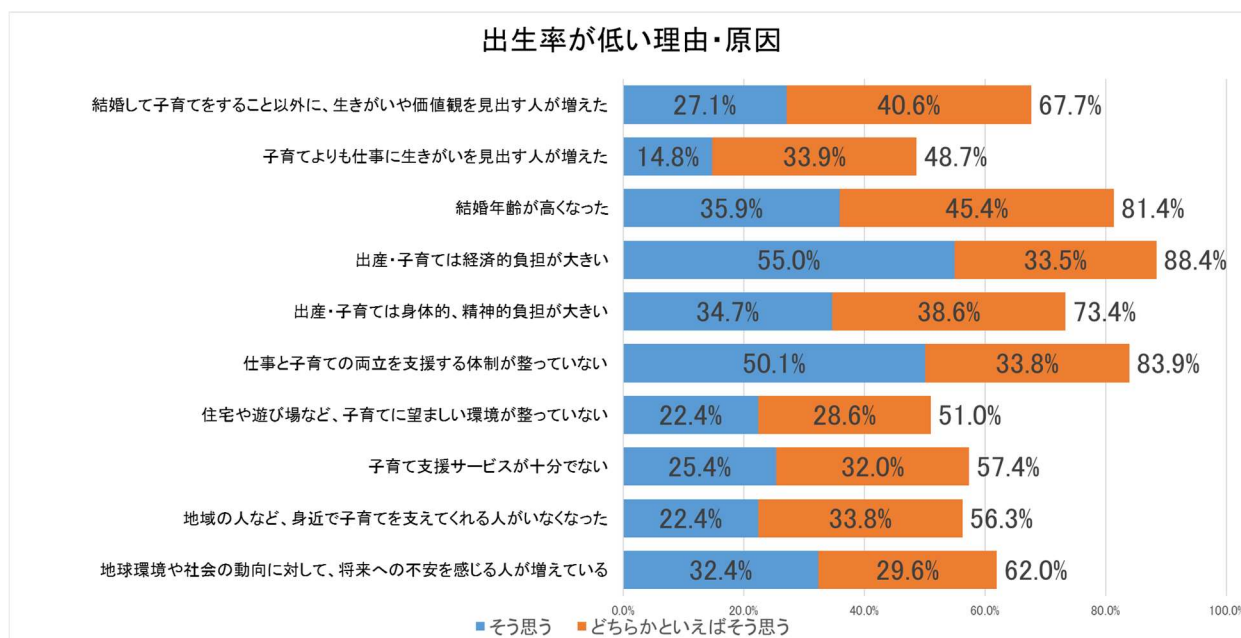


n=319

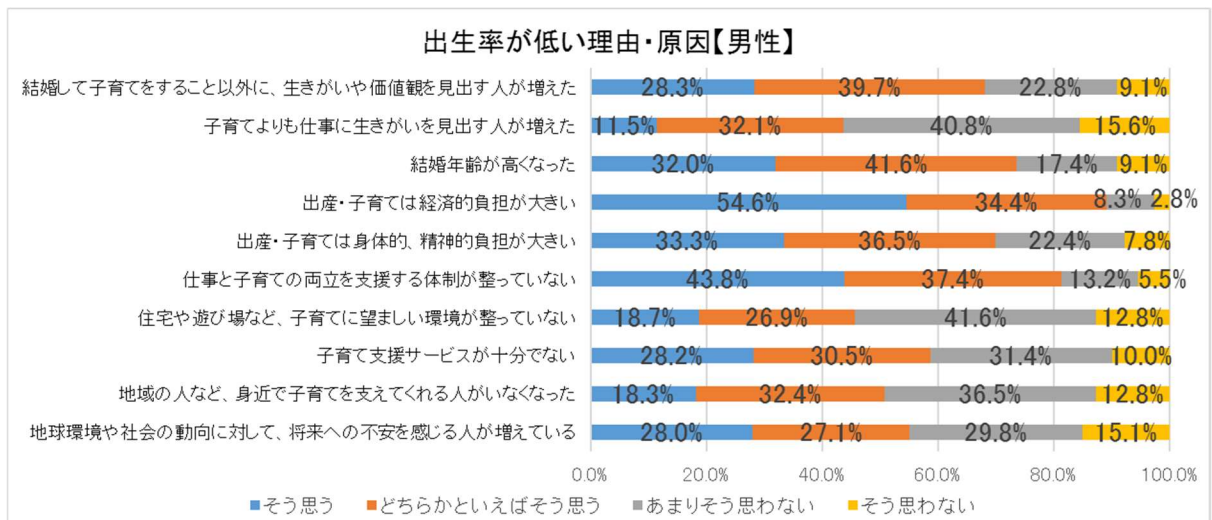


#### (4) 出生率が低い理由・原因

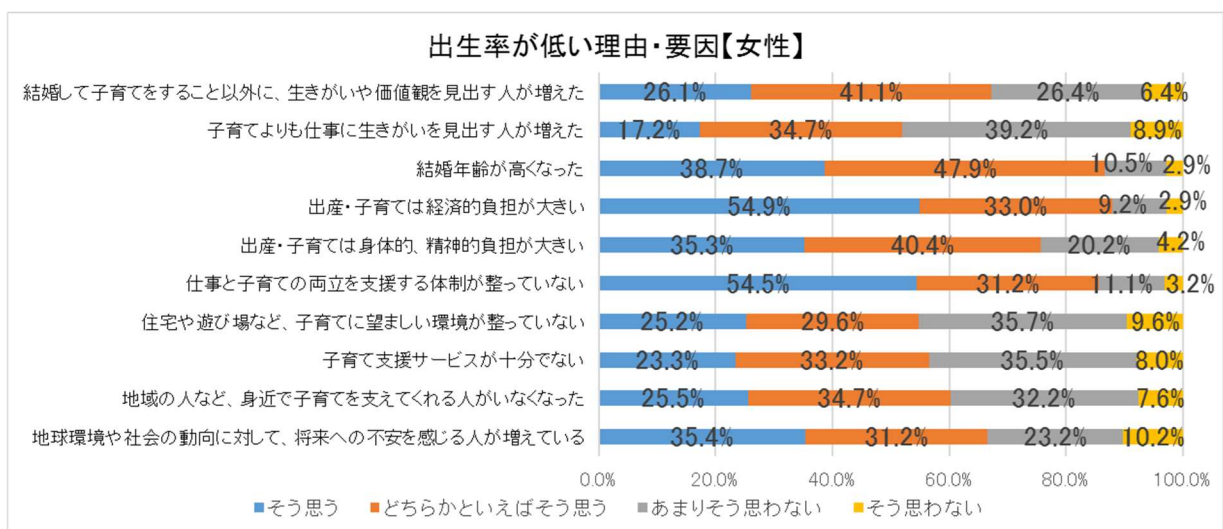
出生率が低い理由・原因について「出産・子育ては経済的負担が大きい」と思う人が約9割で最も高かった。次いで、「仕事と子育ての両立を支援する体制が整っていない」「結婚年齢が高くなった」が8割以上、「出産・子育ては身体的、精神的負担が大きい」が7割以上で高くなっている。



n=537



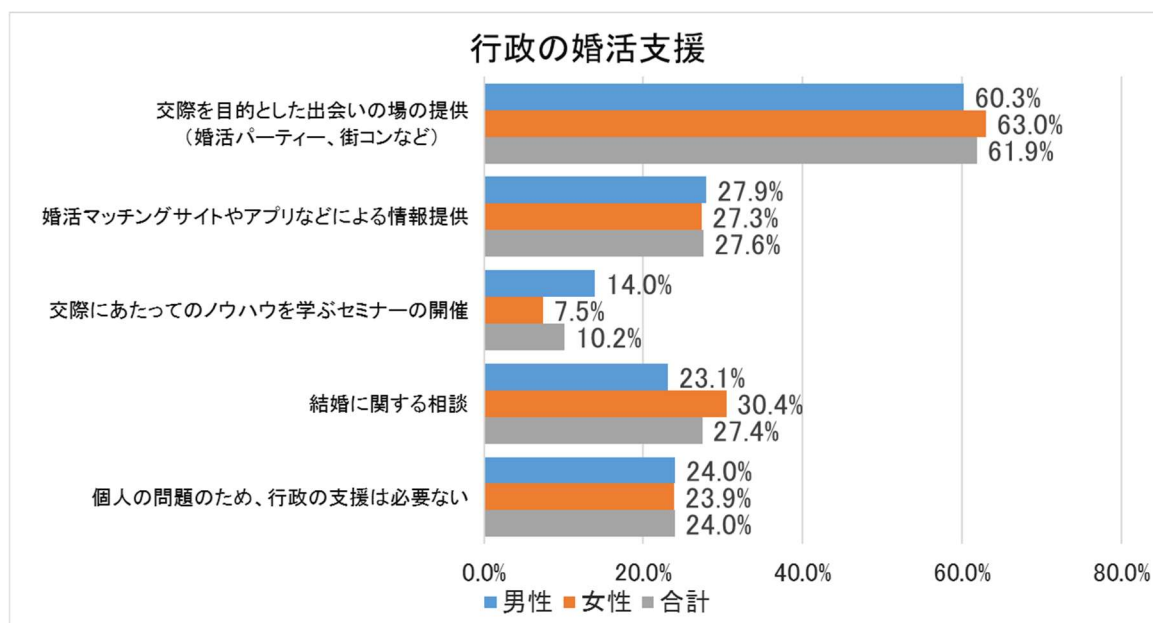
n=220



n=315

## (5) 行政の婚活支援

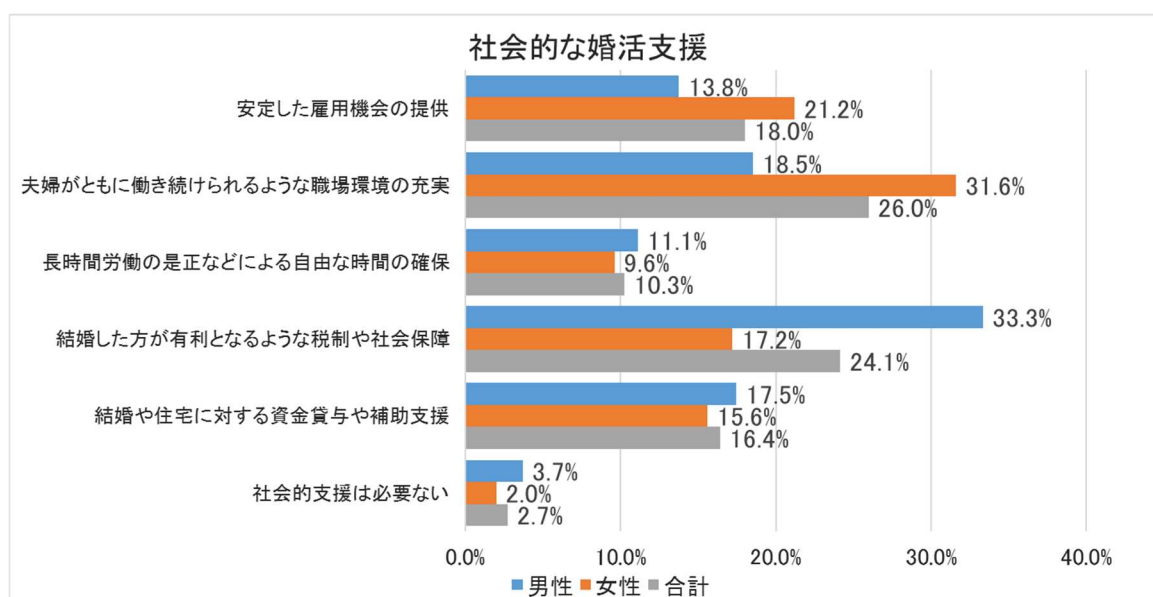
行政の婚活支援について、どのような支援が必要か複数選択可能でたずねたところ「交際を目的とした出会いの場の提供（婚活パーティー、街コンなど）」が男性・女性ともに約6割と高かった。一方で「個人の問題のため、行政の支援は必要ない」が男性・女性ともに約2割となっている。



n=553

## (6) 社会的な婚活支援

社会的な婚活支援について、どのような支援があればよいか択一選択でたずねたところ、男性は「結婚した方が有利となるような税制や社会保障」が約3割、女性は「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」が約3割と高かった。



n=439